

プレゼンテーションのやり方（構成と形式、口上）『学びの技』105頁参照。 2018.7.17

1. はじめに—テーマ・タイトル・課題・（結論）の説明 Introduction : Subject, Problem

- ・これから「」というタイトルで発表を行います。
- ・発表者は、Aグループ（氏名…4名）です。よろしくお願いします。
- ・まず研究のきっかけは、（）で、そこから（）について調査・研究することにしました。課題は（）を明らかにすることです。考察と議論を重ねた結果、結論は、（）になりました。これから、順を追って説明していきます。

2. 基本知識・概要（問題の背景、現状、課題へのカギ等） Background

- ・まず、基本知識として（）について説明します。
- ・次に、問題の背景として、（）というような現状があります。
- ・これらの基本知識や問題の背景を踏まえ、私たちは課題に対して（）という結論の根拠として次の二点を考えました。

3. 根拠（理由、具体的事例、データの裏付け） Evidence, Reason, Material (data)

（1）根拠1 論理的・具体的説明

- ・まず、根拠の一つ目は、（）です。→説明・資料
- ・（）という資料がこの根拠を裏付けます。

（2）根拠2 論理的・具体的説明（数値・グラフ等）→説明・資料

- ・次に、根拠の二つ目は、（）です。
- ・結論にいたる根拠としては、（）が重要なポイントとなります。

（3）反論への反論

- ・これらの根拠については、（）という反論があるかもしれませんが、これについては、（）の問題を含んでおり、この考えは支持できません。

4. まとめ Summary, Conclusion

- ・以上、二つの根拠＝（）を理由に、（）という問いに対して、（）という結論を導き出しました。

5. 参考文献 References, Bibliography : 参考文献は以下の通りです。

（謝辞1）ご清聴ありがとうございました。

（質問・応答） Questions & Answers, Comments,

- ・質問：なぜ（）ですか（Why-Because）。具体的には（）ですか。根拠資料について確かですか等々。

・応答

（謝辞2）これで発表を終わります。ありがとうございました。